

平成25年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立今泉小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、「開かれた学校づくり」を推進し、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成25年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

I 調査の概要

1 目的

- ア 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における、児童生徒の学力・学習状況を把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- イ 各教育委員会、学校等が全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- ウ 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査期日

平成25年4月24日（水）

3 調査対象

第6学年

4 本校の参加状況

① 国語A	76人	国語B	76人
② 算数A	76人	算数B	76人

5 留意事項

- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数の2教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部分であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「全体的な傾向」、「分類・区分別の傾向と課題」、「指導改善のポイント」などの分析を併せて記載した。

II 調査結果の概要

1 国語

全体的な傾向

- ・国語A（知識）の平均正答率は、「話すこと・聞くこと」を除き全国平均より高い。なお、正答数の分布状況は全国と比べ、15問～18問正答（正答率約83%～100%）の割合が高い。
- ・国語B（活用）の平均正答率は、全国平均より高い。なお、正答率の分布状況は全国と比べ、8問～10問（正答率80%～100%）の割合が高い。

●…課題があるもの

分類・区分別の傾向と課題

【話すこと・聞くこと】

○A 領域の平均正答率は42.1%で、全国平均より1.1ポイント低い。

⇒● この領域からの出題は、選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものとして適切なものを選択する設問の1問である。比喩法や倒置法などの表現方法を適切に捉えることに課題がある。

○B 領域の平均正答率は73.2%で、全国平均より8.4ポイント高い。

⇒○ 6年生の助言の仕方の説明として適切なものをそれぞれ選択する設問の正答率は61.8%で、全国平均より13.3ポイント高い。

【書くこと】

○A 領域の平均正答率は64.1%で、全国平均より11.1ポイント高い。

⇒○ 特に、「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、全体からわかることを書く設問の正答率は、64.5%で全国平均より19.6ポイント高い。

⇒● ただし、接続語を使って1文を2文に分けて書く設問の正答率は、全国平均より10.8ポイント高いものの、正答率は34.2%と、設問の中で最も低く、文と文のつながりを考えながら接続語を使って内容を分けて書くことに課題がある。

○B 領域の平均正答率は48.0%で、全国平均より4.2ポイント高い。

⇒● ただし、複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く設問では正答率15.8%で、全国平均より2ポイント低く、全ての設問の中で最も低い。目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書くことに課題がある。

【読むこと】

○A 領域の平均正答率は66.7%で、全国平均より6.6ポイント高い。

○B 領域の平均正答率は54.9%で、全国平均より7ポイント高い。

⇒○ 特に、2人の推薦文を比べて読み、それぞれの読み方として適切なものを選択する設問の正答率は、61.8%で全国平均より9.9ポイント高い。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

○A 事項の平均正答率は67.3%で、全国平均より4.7ポイント高い。

⇒○ 特に、ことわざ「石の上にも三年」の意味として適切なものを選択する設問の正答率は80.3%で全国平均より9.2ポイント高い。

⇒● ただし、漢字の書き（停車）の正答率が42.1%で、全国平均より4.8ポイント低い。また、俳句の情景として適切なものを選択する設問では正答率は48.7%で全国平均を1.2ポイント上回っているものの、俳句に対する理解に課題がある。

○B 事項の平均正答率は73.7%で、全国平均より9.9ポイント高い。

【その他】

○AB 問題形式別に見るとどの形式の問題も平均正答率は全国平均より高い。

国語に関する児童質問紙調査の状況

●…課題があるもの

《傾向》

- 国語に関するほとんどの質問において、肯定的な回答の割合は全国平均と比べて高い。
- 「国語の勉強は好きですか」及び「国語の勉強は大切だと思いますか」の質問に対する肯定的な回答の割合は71.1%と82.9%で、全国平均よりそれぞれ13.2ポイント及び7.7ポイント高い。
- 「読書は好きですか」では、肯定的な回答の割合が77.6%で、全国平均を6.1ポイント上回っている。
- 「国語の授業で話し合いをするときに、司会者として発言をまとめたり参加者として立場や理由を明らかにして発言したりしますか」の質問では、肯定的な回答の割合が46.1%で全国平均より0.6ポイント低い。
- 国語Aでは、解答時間が足りなかったようである。

指導改善のポイント

【話すこと・聞くこと】

- ・スピーチの指導では、目的や意図に応じて自分の立場や結論を明確にした上で全体の構成や表現の工夫を考えさせるとともに、事実と感想・意見を区別しながら話す活動を計画的に行う。
- ・話す・聞く能力を高めるために、児童が自分の意見や考えを述べたり相手の話を集中して聞いたりする機会を、国語の時間ばかりではなく会話科や日常のいろいろな場面で数多く設定する。

【書くこと】

- ・テーマに沿って文章を書く機会をなるべく多く与えるように工夫し、目的に応じて適切な文章を書く力を高めさせる。
- ・文のねじれに気が付き、自ら修正できるような言語感覚を身に付けさせるため、読み返し推敲する活動を行う。また、長文になった一文は接続語を使って複数の文に分けるとわかりやすい文になることに気付くようくり返し指導する。
- ・国語の時間だけでなく、自主学習、その他の場面でも自分の思いや考えを表現する機会を設けていく。

【読むこと】

- ・文学的文章を教材にした授業では、登場人物の心情に寄り添い、情景描写に気を付けながら想像力をはたらかせて読むよう叙述に即した読みの指導を行う。
- ・朝の読書や読み聞かせなどの機会を捉えて同じ作者や同じテーマの作品を紹介するなど、効果的な読書活動の充実を図る。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

- ・新出漢字はもとより、既習の漢字についても繰り返し復習させ定着を図る。
- ・あらかじめ出題内容を知らせながら繰り返し計画的に漢字テストを実施し、学習意欲を高め達成感を味わえるような方法を工夫する。

【その他】

- ・各教科や総合的な学習の時間等の学習との関連を図る。
- ・学校図書館司書と連携しながら図書館を計画的に利用、言語活動の充実を図る。

2 算数

全体的な傾向

- 算数 A (知識) の平均正答率は全国平均より高い。なお、正答数の分布状況は全国と比べ 17 問~19 問正答 (正答率約 89%~100%) の割合が高い。
- 算数 B (活用) の平均正答率は全国平均より高い。なお、正答数の分布状況は全国と比べ 11 問~13 問正答 (正答率約 85%~100%) の割合が高い。

分類・区分別の傾向と課題

●…課題があるもの

【数と計算】

- A 領域の平均正答率は、84.5%で全国平均より 4.3 ポイント高い。
 - ⇒○ 特に、除数と商と余りから被除数を求める式を選ぶ設問の正答率は 80.3%で、全国平均より 8.7 ポイント高く、この領域のすべての設問の平均正答率が全国平均より高い。
- B 領域の平均正答率は 61.0%で、全国平均より 12.7 ポイント高い。
 - ⇒○ 特に、ワールドカップ後の 1 試合当たりの観客数がワールドカップ前の 1 試合当たりの観客数の約何倍になるのかを求める方法と答えを書く設問の正答率は 59.2%で、全国平均より 16.1 ポイント高い。

【量と測定】

- A 領域の平均正答率は 68.4%で、全国平均より 0.1 ポイント高い。
 - ⇒○ 特に、面積と座っている人数が異なる 2 つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ設問の正答率は 57.9%で、全国平均より 7.9 ポイント高い。
 - ⇒● ただし、1 a と等しい面積になる正方形の一边の長さを選ぶ設問の正答率は 48.7%、上底・下底・高さ・斜辺の長さがわかっている台形的面積を求める式と答えを書く設問の正答率は 69.7%で、いずれも全国平均より 3.6 ポイント低い。1 a という単位や台形的面積の求め方の理解に課題がある。
- B 領域の平均正答率は 65.2%で、全国平均より 9.2 ポイント高い。

【図形】

- A 領域の平均正答率は 75.0%で、全国平均より 2.5 ポイント高い。
 - ⇒○ 特に、合同な三角形をかくことができる条件を選ぶ設問の正答率は 75.0%で、全国平均より 14.3 ポイント高い。
 - ⇒● ただし、円柱の展開図に示された側面の長方形の縦の辺の長さを書く設問の正答率は、85.5%で全国平均より 5.1 ポイント低く、同じく横の辺の長さを求める式と答えを書く設問の無答率は、7.9%と算数 A の中で最も高い。円柱の見取り図と展開図を対応させて考えることが課題である。
- B 領域の平均正答率は 82.0%で、全国平均より 2.7 ポイント高い。
 - ⇒○ 特に、4 等分になるための条件の中で、台形では当てはまらないわけを選ぶ設問の正答率は 63.2%で、全国平均より 6.9 ポイント高い。
 - ⇒● ただし、5 列 10 番の座席の位置を基に、2 列 4 番の座席の位置を表す設問の正答率は 92.1%で、全国平均より 2.1 ポイント低い。示された情報から二つの要素の意味を解釈し、ものの位置を特定する方法の理解に課題がある。

【数量関係】

- A 領域の平均正答率は 87.2%で、全国平均より 3.8 ポイント高い。
 - ⇒○ 特に、200cm の 50% に当たる長さを選ぶ設問の正答率は 84.2%で、全国平均より 7.5 ポイント高い。
- B 領域の平均正答率は 63.7%で全国平均より 8.8 ポイント高い。
 - ⇒○ 特に、実験の結果得られた 2 つの数量の関係が比例の関係ではないことを表の数値を基に書く設問の正答率は 53.9%で、全国平均より 18.7 ポイント高い。
 - ⇒● ただし、正しく測定できなかった結果を除いて平均を求めるときの正しい式を選ぶ設問の正答率は 75.0%で、全国平均より 0.6 ポイント低い。飛び離れた数値を除いた場合の平均の求め方の理解に課題がある。

《傾向》

- 算数に関するすべての質問において、肯定的な回答の割合は全国平均と比べて高い。
- 「算数の授業の内容はよくわかりますか」に対する肯定的な回答の割合が93.4%で全国平均より13.2ポイント高い。
- 「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」に対する肯定的な回答の割合が77.6%で全国平均より11.4ポイント高い。

指導改善のポイント

【数と計算】

- ・（ ）を用いた計算の順序など、計算のきまりについての学習の充実を図る。
- ・四捨五入で数を適切に処理する方法を理解させるために、示された位までの概数を考える学習では、数直線に表して考える活動を取り入れるなどして、示された位の一つ下の位の数に着目する意味が理解できるよう指導する。

【量と測定】

- ・a, haなどの広い面積を表す単位について、一辺の長さを理解させるとともに、その広さを感覚的に捉えられるよう工夫する。
- ・飛び離れた数を除いて平均を求める意味やその求め方について、生活の中での具体的な場面で考えさせ、理解を深める。

【図形】

- ・円柱の底面の円周の長さや展開図の側面の辺の長さが対応していることなど、立体図形の構成要素の関係を理解できるようにするために、具体物を観察して特徴を捉える活動や、展開図を組み立て、見取り図と展開図の辺や面の関係を調べる活動を充実させる。

【数量関係】

- ・表から数値を適切に取り出して、二つの数量の関係が比例の関係であるかを考察し、数と言葉を用いて記述することができるようにするために、表の読み取りや変化の規則性に着目して説明する活動の充実を図る。

【その他】

- ・基本的な計算の着実な定着を図るために四則のきまりや計算の意味、簡単に計算する工夫、分数や小数の計算などの反復練習を、授業や朝の学習に取り入れるとともに、個に応じた指導の充実を図る。
- ・式の意味についての考えを深めるために、友達がどのように考えて立式したのかを友達に代わって説明したり、自分の式と比較して考えたりするなどの活動を充実させる。

3 児童質問紙調査

●…課題があるもの

《傾向》

- 「朝食を毎日食べていますか」の質問では「している」との回答の割合が97.4%で、全国を8.7ポイント上回っている。
- 「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」の質問の肯定的な回答の割合は85.5%で、全国と比べると、10.5ポイント高い。
- 「自分には、よいところがあると思いますか」の肯定的な回答の割合は、85.5%で、全国と比べると9.8ポイント高い。
- 「家の人と学校での出来事について話をしていますか」では、しているが82.9%で全国と比べると6.4ポイント高い。
- 「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか」の質問では、肯定的な回答は51.3%で、全国と比べると14.3ポイント低く、書くことに抵抗のない児童が多い。
- 「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」や「家で、学校の予習をしていますか」の質問では、肯定的な回答がそれぞれ69.7%と52.7%で、ともに全国より10ポイント以上高い。一方「家で、学校の授業の復習をしていますか」の質問では、肯定的な回答の割合は52.6ポイントであるが、全国より1.2ポイント高いに留まっている。
- 「地域や社会で起きている問題や出来事に関心がありますか」や「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の質問では肯定的な回答は69.8%と51.3%で全国より12ポイント以上高い。
- 普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよくおこなっていると思いますか」の質問の肯定的な回答の割合は、84.2%で全国より27.6ポイント高い。
- 「学校の授業時間以外に、1日当たりどれくらいの時間、勉強しますか」の質問で、「平日1時間以上学習している」児童の割合は61.8%で、全国より1.4ポイント低い。
- 「将来、外国に留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたい」と思う児童は51.3%で全国より12.5ポイント高い。しかし、「英語の学習は好きですか」の質問の肯定的な回答の割合は、71.1%で全国と比べると5.1ポイント低く、「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか」の質問の肯定的な回答の割合は64.5%と全国より6.1ポイント低い。